

2・2 生活化学部

平成19年度は、行政依頼検査として食品中の残留農薬試験，食品，食品添加物の規格基準試験，畜水産食品中の動物用医薬品残留試験及び家庭用品の有害物質試験のほか，熊本県食の安全安心推進条例に基づく県産農林水産物中の農薬・動物用医薬品の出荷前残留試験を実施した。その他，農林水産部からの依頼による松くい虫防除に使用する薬剤の残留調査を実施した。

主な試験検査及び調査研究の概要は次のとおりである。なお，業務実績表を別表に示す。

2・2・1 試験検査

1) 食品・添加物等の規格基準試験

食品中の添加物検査として，保存料，甘味料，酸化防止剤，着色料，漂白剤，発色剤等の検査を実施した。甘味料で使用基準値超過が1件検出，表示違反が1件，着色料で表示違反が1件検出された。食品成分規格検査では，清涼飲料水，玄米等について実施したが，基準値を超えたものはなかった。

2) 畜水産食品中PCB含有検査

本年度は，検査を実施しなかった。

3) 魚介類の水銀検査

県内で漁獲され，県内に流通している魚介類の総水銀検査を実施してきたが，平成13年度からは全水銀検査を保健所試験検査課で行い，当所では暫定的規制値を超える検体について有機水銀検査を実施することにしているが，本年度は該当する検査はなかった。

4) 畜水産食品中の動物用医薬品残留検査

生産段階で使用される動物用医薬品及び飼料添加物等が，食肉・魚介類等の畜水産食品中に残留している実態を把握するため，食肉，養殖魚介類，牛乳及び卵について，動物用医薬品の検査を実施した。食品衛生法の基準値を超えるものはなかった。

5) 食品中の残留農薬検査

輸入食品を含む野菜，果実，茶等について残留農薬試験を実施した。食品衛生法の基準値を超えるものはなかった。

6) 特定アレルギー物質検査

卵，乳，小麦，そば及び落花生の特定アレルギー5物質について，表示確認試験を実施した。使用が疑われる検体が卵で2検体，小麦で2検体，牛乳で3検体，

そばで1検体あった。

7) 家庭用品中有害物質含有検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき，試買した繊維製品中のホルムアルデヒド及びディルドリン，家庭用洗剤の水酸化ナトリウム・水酸化カリウム等について検査を実施したが，基準を超えるものはなかった。

8) 医薬品等に関する試験検査

中国製の練り歯磨きからジエチレングリコールが検出された事例が報道されたことを受け，県内にある輸入販売元の在庫品についてジエチレングリコールの含有確認試験を実施した。結果7検体から0.01～0.52%の含有を確認した。

また，県内獣医師による無承認医薬品の販売事件を受け，同剤の含有医薬品の確認試験を行った。

9) 器具，容器包装の規格基準試験

食品の調理，製造加工，運搬及び保存などに用いられる器具及び容器包装については，食品衛生法によってその材質毎に規格基準が定められている。本年度は割り箸，つま楊枝などについて防かび剤，二酸化硫黄，蛍光増白剤の試験を実施した結果，防かび剤等の一膳当たりの限度値を超えるものはなかった。

10) 食品苦情に伴う理化学的原因調査

中国製冷凍餃子によるメタミドホス中毒事件が発生したことを受け，県内の当該餃子を食べ何らかの症状を訴えた人が保有していた餃子（開封品及び未開封品）のパッケージ（内面，外面，トレイ）及び餃子について，メタミドホスを含む有機リン剤のスクリーニング試験を実施した。いずれの試料からも有機リン剤が検出されなかったため，餃子について通常分析しているメタミドホス，ジクロロボスを含む470農薬の精密試

験を実施したが農薬は検出されなかった。

また、広島県内で苦情のあった県産冷凍加工食品について423農薬の試験を実施したが、農薬は検出されなかった。

11) 松くい虫特別防除薬剤残留検査

球磨郡あさぎり町において、平成19年5月下旬から6月下旬に実施された松食い虫防除の影響調査のため、流域の河川水と水源における使用薬剤の残留試験を実施した。

12) GLPに関する精度管理

食品衛生外部精度管理調査に参加した。

調査項目は、重金属(Cd)、残留農薬(クロルピリホス、フェントロチオン)及び残留動物用医薬品(フルベンダゾール)であり、結果はすべて良好であった。

13) フグ毒試験

本年度は、該当する検査はなかった。

14) 熊本県食の安全安心推進条例に基づく出荷前農薬等検査

県産の主要な農林水産物について残留農薬、動物用医薬品の出荷前検査を実施した。食品衛生法の基準値を超えるものはなかった。

15) 一般依頼検査

給食施設から食器の規格試験及び調剤薬局から医薬品の含有確認試験の依頼があった。

2・2・2 調査研究

1) 液体クロマトグラフ/タンデム型質量分析計(LC/MS/MS)を用いた食品中の残留農薬迅速分析法に関する研究

LC/MS/MSを使用した食品中残留農薬の迅速一斉分析法の検討を行った。

2) 畜水産食品中の動物用医薬品迅速分析法に関する研究

LC/MS/MSを使用した動物用医薬品の迅速一斉分析法の検討を行った。

3) ムラサキイガイを用いた熊本県下の沿岸海域における化学物質の生物濃縮に関する調査研究

「ムラサキイガイを用いた沿岸環境の汚染状況の評価(Mussel Watch)」は、現在世界中で広く行われ、日本国内での報告も多い。当所では、化学物質の生物濃縮の解析・評価を行うことを目的に、県下の沿岸海域においてムラサキイガイ試料の採取を行った。

